

大麦栽培特報 第4号

平成29年3月31日
 いなば農業技術者協議会
 ○事務局【JAいなば営農生産課】
 小矢部市赤倉97 67-8000
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
 ○高岡農林振興センター 26-8480

1. 現在の生育状況 (3/28 調査より)

調査圃 平均	草丈 (cm)	莖数 (本/m)	葉令	葉色 (SPAD)	葉穂長 (mm)
H29	29.5	592	13.3	43.1	15.3
平年	26.4	684	11.4	41.9	9.8



○生育は、平年より草丈はやや長く、莖数は少なく推移しています。
 (出穂期予想：福岡4月15日頃、小矢部17～19日頃)

○湿害による莖数不足のほ場も見られます。(写真)

2. 今後の管理

(1) 排水対策
 排水溝の手直しを行うとともに、深く掘下げた排水口への連結を徹底する。

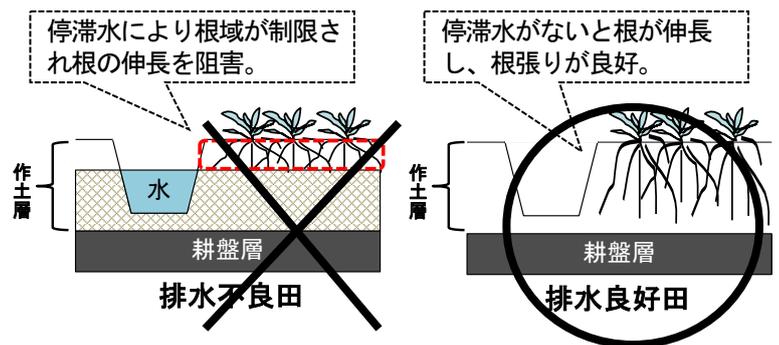


図. 排水の良否と根の伸長のイメージ

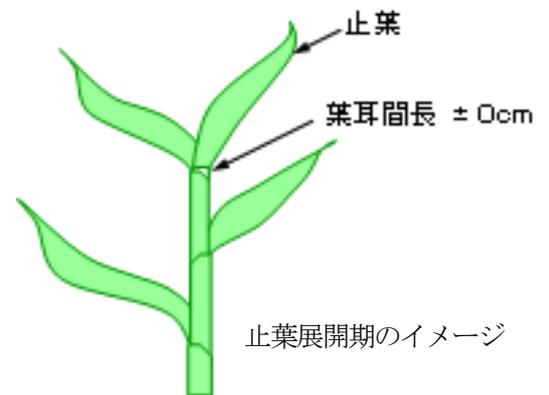
(2) 分施肥体系の追肥

分施肥体系を行っている地区では、ほ場により生育が異なるので、止葉展開期を確認し、追肥は、5～10kg/10aを施用してください。

※品質低下をまねくので、追肥は遅れずに、行ってください。

—追肥量の目安—

葉色・葉色版 (SPAD)	硫安施用量 (Kg/10a) ()は窒素分量	
5未満 (45未満)	10	(2)
5以上 (45以上)	5	(1)



止葉展開期のイメージ

※止葉展開期とは？

止葉が完全に抽出した茎が、全体の40～50%となった時期です。

※ 肥効調節型肥料の場合は、止葉展開期追肥は施用しない。
 ただし、葉色が淡いようなら営農指導員にご相談ください。